教育相談研究

第56巻

2019年

原	著					
直安	原藤	康智	光 子	子どもが認知した別居・離婚後の 父母葛藤・父母協力尺度の作成と 信頼性・妥当性の検証	1	
津熊				アーレンシンドロームと発達障害を併せもつ人が 二次障害と有効な支援に至るプロセス :質的分析による少数事例の検討	15	
吉山熊	田本谷	知ゆ恵	世 う 子	・食的がかによるタ数争的の候的 中学校入門期における算数の困難に関する予備的検討 ・数概念・暗算の困難に着目して	27	
資 藤村相	米 原上川	4 健 達	志 也 充	小学生を対象とした感謝経験の筆記による ポジティブ・ネガティブ感情の変化 (2) : 筆記内容に焦点を当てて	41	
報	쑏	.			49	

筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達専攻カウンセリングコース 筑波大学心理・発達教育相談室

「教育相談研究」編集委員会

編集委員長 大川 一郎 副編集委員長 恵子 熊谷

編集委員 大川 一郎 安藤 智子 岡田 昌毅 藤生 英行 熊谷 大塚 泰正 原田 降之 飯田 順子 小島 道生 堀口

第56巻の編集に際して下記諸氏の協力を得ました。記して感謝申し上げます(敬称略)。

山本陽一 (明星大学) 三和秀平 (関西外国語大学) 態上 崇(和光大学) 神田 尚(筑波大学) 中津真美(東京大学)

「教育相談研究」編集規定

2015.10.1 改訂

- 1.本誌は、筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達専攻カウンセリングコース、ならびに筑波大学心理・発達教育和談室 が発行する教育相談、発達支援等に関する機関誌として、年1回発行する。 2.本誌は、原則として以下の①~⑥に属する者の教育相談、発達支援等にかかわる論文の掲載にあてる。
- ① 筑波大学人間総合科学研究科生涯発達専攻カウンセリングコースの構成員
- 筑波大学人間総合科学研究科生涯発達科学専攻カウンセリング科学領域の構成員
- 非常動相談員を含む心理・発達教育相談室の構成員 筑波大学人間総合科学研究科生涯発達専攻カウンセリングコースの大学院生または修了生
- (5) 筑波大学人間総合科学研究科生涯発達科学専攻カウンセリング科学領域の大学院生または修了生

- ⑤ 筑波大学人間総合科学研究科生建発達科学専攻カウンセリング科学領域の大学院生または修了生
 ⑥ コース・領域・相談室の構成員、コース・領域大学院生または修了生の共同研究者
 3.本誌は、原著論文、資料、事例研究、展望、特別論文を掲載する。
 4.原著論文、資料、事例研究、展望は、編集委員会において査読審査され、その掲載の可否が決定される。
 5.原著論文、資料、事例研究、展望は未公刊のものに限る。
 6.事例を扱う研究については、患者、クライアント(カウンセリー)、学校など、援助対象者のプライバシーに配慮し、対象者の同意を得た上で、対象者本人がみた場合であっても特定できないように工夫することとする。(個人情報保護法の立場からも十分な配慮をすること)
 7 執義規定は「心理学研究」(日本心理学会発行 2015年度に)と継ずる
- 7. 執筆規定は「心理学研究」(日本心理学会発行, 2015年度版) に準ずる。
- 8. 掲載される論文等の印刷に特別に要する費用は、執筆者の負担とする。
- 9. 執筆者に対しては、抜駒30部を贈呈する。それを越える分については、執筆者の負担とする。 10. 原則として本誌の発行は年1回とし、原稿の提出期限は12月末日とする。
- 11. 本誌の編集は、「教育相談研究」編集委員会の責任のもとに行われる。

- 12. 編集委員は、編集委員長、副編集委員長が合議し、決定し、編集委員長より委託する。 13. 編集委員長は、心理・発達相談室長、あるいは、カウンセリングコースコース代表が委嘱する。 14. 原稿の採否は、編集委員会が定める論文査読委員2名(うち1名は学外者による)の審査結果をもとに、編集委員会が最終 的に掲載の可否を決定する。英文の主題およびabstractは、掲載の決定後、ネイティブスピーカーによる校閲を経て掲載される。 15.編集委員会は、論文等の形式統一を行うことがある。
- 16. 単著および共著における筆頭執筆者としての論文等は,原則として構成員1人につき2編以内とする
- 17. 2頃に定めた匈筑液大学人間総合科学研究科生涯発達専攻カウンセリングコースの大学院生または修了生、⑤筑波大学人間総合科学研究科生涯発達科学専攻カウンセリング科学領域の大学院生または修了生、⑥コース・領域・相談室の構成員、コー ス・領域大学院生または修了生の共同研究者を筆頭執筆者とする論文は、その指導にあたるコース構成員が共著者である場 合に限り認められる。
- 18.2項に定めた④筑波大学人間総合科学研究科生涯発達専攻カウンセリングコースの大学院生または修了生,⑤筑波大学人間 総合科学研究科生涯発達科学専攻カウンセリング科学領域の大学院生または修了生,⑥コース・領域・相談室の構成員,コー ス・領域大学院生または修了生の共同研究者を筆頭執筆者とする論文等は,原則として共著者である構成員1人につき2編 限りとする。
- 19. 本誌は第波大学電子図書館に収録される。ただし事例論文については年度毎にこれを定める。20. 本誌は第波大学電子図書館に収録される。ただし事例論文についてはこの限りではない。
- 21. 本誌に掲載された論文の著作権は筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達専攻カウンセリングコースならびに筑波大学 心理・発達教育相談室に帰属する。ただし、内容についての責任は著者が負う。

究 教 育 相 談 研

第56巻

令和元年10月31日 印刷 令和元年10月31日 発行

「教育相談研究」編集委員会 編

編集委員長 大川 一郎

発 行 筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達専攻カウンセリングコース

> 表 大 川 一 郎 代

筑波大学心理・発達教育相談室

田隆之 長原 室

TEL 03-3942-6850 〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1

印刷所 有限会社 新和印刷

> 〒164-0013 東京都中野区弥生町 5-1-15 TEL: 03-3382-4480 FAX: 03-3382-4458

BULLETIN

OF

COUNSELING AND SCHOOL PSYCHOLOGY

$\textbf{Editors in Chief} \ \ \textbf{Ichiro OOKAWA}$

Editorial Board

Masaki OKADA Satoko ANDO Hideyuki FUJIU Keiko KUMAGAI Takayuki HARADA Junko IIDA Yasumasa OTSUKA Michio KOJIMA Kouta HORIGUCHI

CONTENTS

Original Articles Reliability and validity of a scale for parental conflict and co-parenting	
following separation or divorce Yasumitsu JIKIHARA · Satoko ANDO	(1)
Process of Secondary Disability and effective support of people with Irlen Syndrome with Developmental Disabilities: Examining few cases through qualitative analysis	(15)
A preliminary study on mathematical difficulties of students in junior high school entrance period: With a focus on the difficulties in number concepts and mental arithmetic	
··· Tomoyo YOSHIDA · Yu YAMAMOTO · Keiko KUMAGAI	(27)
Articles Changes in positive and negative emotions through writings of gratitude experiences for pupils II: Focusing on the contents of writings. Takeshi FUJIWARA·Tatsuya MURAKAMI·Atsushi AIKAWA	(41)
Information	(49)